

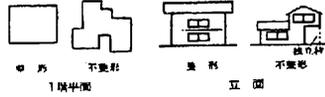
安全度チェックのポイント

地盤

(良い) 岩盤、丘陵地、台地等
 (悪い) 埋立地、低湿地、軟弱地盤
 (普通) その他の場合

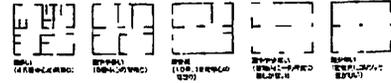
建物の形

凹凸の少ない建物は比較的安全。不整形の建物は地震に弱い傾向がある。



壁の量

壁の量が多いものほど安全。少ない場合は要注意。



基礎

コンクリート造りの基礎で、縦と横に鉄筋が入っているものは比較的
安全。
鉄筋が入っていないものや、石積み、ブロック積みの基礎は要注意。

筋かい

壁の中に筋かいがあるものは、
一応安全。無いものは、注意を！。
(※筋かい→壁の中にある斜材)

老朽化

老朽化しているものは要注意。腐っていたり、シロアリに食われているものは危険。建物の北側、台所や風呂場まわりの土台をドライバーなどでつついてチェックを！。

※耐震診断・改修の相談窓口→建築指導課（建築指導担当）、各地域振興局建設部（建築担当課）、県建築士会（055-233-5414）